

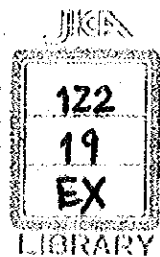
昭和46年2月
昭和47年12月
昭和51年3月

各国事情のしおり

—— タイ 編 ——

1976・3

国際協力事業団



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 3. 28	122.
登録No. 02551	19
	EX

は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として事業団海外事務所からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は、事業団海外事務所の役割（専門家派遣に係る業務の範囲）、専門家に対する要望事項について記すとともに、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣食住、気候、教育、公共施設、治安、対日感情等を重点に作成した。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが、本小冊子が同国に赴任される専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和51年3月

国際協力事業団
総務部長 松原 進

 LIBRARY

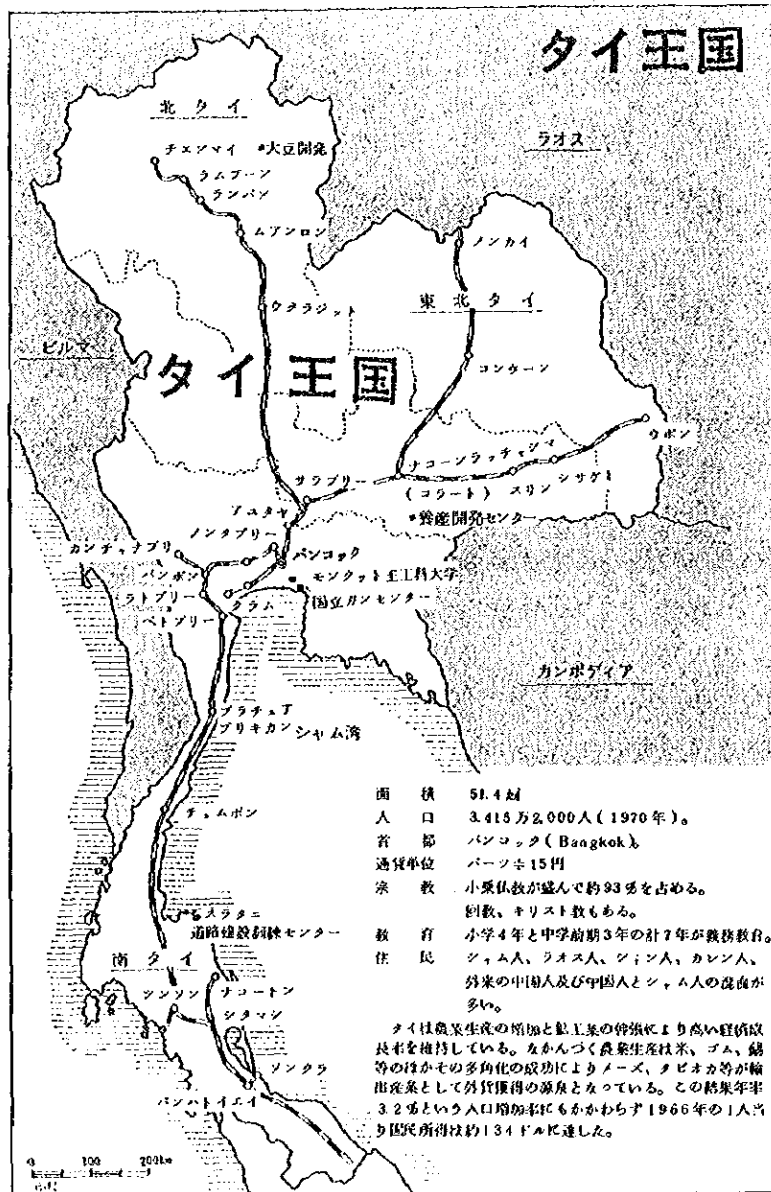


1017032123

目 次

I 国際協力事業団海外事務所について	3
1. 海外事務所の役割	3
2. 専門家に対する要望事項	6
II 任国事情	9
1. 住宅（住宅事情、家賃、ホテル、什器・備品）	9
2. 食品（食料事情、価格、外食）	10
3. 衣類、日用品（衣料事情、日用品）	14
4. 使用人	14
5. 医療（医療事情、医薬品、疾病の種類、健康管理 上の注意）	15
6. 子弟の教育機関（教育機関、授業料、通学方法）	16
7. 娯楽設備（保養地等、余暇、日本人クラブ等）	17
8. 電 力	18
9. 交通（交通事情、レンタカー、自動車購入、 運転免許、ガソリン代）	18
10. 為替（相場、対日送金、滞在費受取方法）	22
11. 出入国管理（税関検査、外人登録、ビザ手続）	23
12. 便宜供与（種類、カウンターパート、免税特権）	24
13. 通信・運輸（郵便事情、運送）	26
14. 言語（英語等の普及度、語学学習）	28
15. 気 候	28
16. 治安（一般情勢、夜間外出、緊急時連絡方法）	29

17. その他（対日感情、新聞・雑誌、風俗、習慣、 美容、買物）……………	31
Ⅲ 同国に対する我国の技術協力実績 ……	33
Ⅳ 海外事務所等連絡先 ……	34
V 付録(1) Privileges Accorded To Foreign Experts （ D.T.E.C. Thailand ）	
付録(2) タイの一般事情を知るために（資料紹介）	



I 国際協力事業団海外事務所について

1 海外事務所の役割

(1) 赴任当初

イ) 専門家

- A) 空港出迎へ——何らかの形で対応
- B) ホテルの予約
- C) 大使館および関係者への紹介
- D) 勤務先への案内
- E) 希望により住宅周旋屋を紹介、必要に応じ賃貸契約に立会い、助言を与える。
- F) 携行機材の引取りについては当事務所が通関に関する大使館名における口上書を作成する。引取り業務は専門家の勤務先がD T E Cの協力のもとに直接行う。機材のConsigneeはタイ政府D T E Cである関係上当事務所が直接引取りは出来ない。
- G) 私物、アナカン等の引取りについても前記Fと同様当事務所がD T E C宛無税通関に関する大使館口上書を作成する。D T E Cは税関宛に専門家の私物である証明書を発行する。この証明書に基づきCustoms Brokerに委任するか、専門家自身が直接行いバンコク事務所は引取りは行っていない。日本語の出来るCustoms Brokerを紹介することはできる。家財の輸送方法等については、13. 通信運輸(回)運送の項を熟読されたい。
- H) タイ国の社会情勢等生活上必要なオリエンテーション。

ロ) 家 族

家族が専門家の同伴ではなく呼寄せにより後に来タイする
場合、家族の出迎へは原則として専門家が行っている。
但し専門家より特に依頼があれば可能な限りこれを行う。

ハ) 調査団については以下の業務を行っている。

- A) タイ側と事前にスケジュール(案)の打合せおよび作成
- B) 空港出迎へ——何らかの形で対応
- C) ホテルの予約
- D) 大使館およびタイ側関係者への紹介
- E) タイ側との最終スケジュール作成の際の立会いおよび
助言
- F) 会議等開催の準備
- G) 必要により現地調査に同行
- H) 必要によりタイ側に提出する中間報告書作成に協力

(2) 赴 任 中

- A) 本部へ送付する業務・報告書、事務連絡の写を各一部
提出してもらう。
- B) 専門家の一時帰国申請(公費私費を問わず)は事務所
を通して行う。
- C) 現地業務費の増額申請について
申請書は事務所に提出してもらい審査の上、妥当であ
れば権限の範囲内で仮承認する。
- D) 住宅調査・共済給付請求書の確認
- E) 専門家勤務先への定期的訪問は在タイの専門家数が多
数のため現状では物理的に不可能で行っていない。
しかし必要に応じ適宜訪問を行う。(その際勤務先の

責任者と面会し専門家の活動の Evaluation を行うと共に専門家の希望、問題点を聴取しタイ側責任者に伝えている。

- F) 緊急時の治安対策及び連絡
治安を含め緊急時に連絡をとりあったり、平常より専門家の横の連絡を密にするため、赴任中専門家リスト（氏名・勤務先・期間・電話を含む）を当事務所が作成し随時専門家に配付している。そのため、住所変更の際は必ず報告してもらう。
- G) ビザ更新については当事務所が大使館名における口上書を D T B C 宛作成提出し、D T B C が専門家に代って移民局に手続きを行い更新される。（但し1ヶ月位は掛る）渡航先追加に任務終了後帰国時の近隣諸国（ラオス・カンボディア・ヴェトナム・ビルマ・マレーシア・シンガポール・香港）の立寄り以外は認められない。但しカンボディア・ヴェトナムは内戦終了後間もないし、日本との国交が快復していないので現在のところ不可。
- H) 携行機材・機材供与等本部申請する際の助言を行うと共に事務所と打合わせの上本部へ提出してもらう。
- I) 専門家のカウンターパートの日本での研修計画立案に対する助言。
- J) 必要に応じ病気時における医者・病院の紹介、特に当地に医療専門家が常時数名派遣されているので、これらの専門家に助言を求める為に紹介する。
- K) 其の他必要に応じ公私を問わず助言を与える。専門家

は遠慮なく当事務所に相談されることを望む。

2 海外事務所からの専門家に対する要望事項

(1) 一般的要望事項

- A) 事務所と常に密接な連絡を保つこと。
- B) 日本人として常識ある言動をとること。
- C) 出稼ぎ根性をやめ身銭を使う位の気持をもつこと。
- D) タイ人は食事に紹待することが好きな国民である。紹かれたら三度に一度位はお返しの紹待をすること。
- E) タイ人は非常にプライドの高い国民である。決して指導者意識をもたないこと。対等の立場で問題を一緒に考えてやる気持が絶対に必要。
- F) 特に王制、政治、仏教に対して批判的な発言はしないこと。
- G) 公私生活上腹の立つことが非常に多いが決して腹を立てないこと。健康上もよろしくない。
- H) 公衆の面前で大声で人を罵倒しないこと。特に運転手、女中等はこの点に注意すること。
- I) 「意おのずから通ずる」誠意をもって接することが肝要。
- J) 賭事（マージャン、トランプ）は御法度。事前に警察の許可を必要。
- K) 優秀な技術者であると同時に人格・見識を備えた人間であること。
- L) 専門家の手引を熟読して、権利ばかり主張せず先づ第一に義務を果すこと。
- M) 身なり（整髪・服装）を常時こざっぱりしておくこと。

- N) タイ人を含め外人との食事の際、大声で話したり、音を立てて食べないこと。(特にスープを飲む時に注意)
- O) 深酒はせぬこと。
- P) 日本人とばかり交際せず、タイ人、第三人との交際に務めること。これにより仕事上情報収集などに大いに役立つ。
- Q) センター・プロジェクト等集団で派遣される場合、日本での出身機関が同一でない所謂寄合所帯の場合にはチームワークが兎角問題になる。要員・専門家は理事長・リーダーなりの指示に従い統一ある行動をとる様充分に心掛けられたい。
- R) 上記Q) の場合、特に夫人間のトラブルが起りがちである。専門家は妻と十分話し合いを行いながら、他専門家夫人とのスムーズなおつきあいが出来るよう、側面より助けることが大切。
- S) 又、夫人の場合、余暇が充分にあるため、タイ国事情を勉強するなり、切手収集、刺しゅう、英会話、読書など、何らかの趣味をもつことが、滞在を有意義なものとする事ができる。
- T) 他の人の生活も大切にすること。
- U) 専門家は赴任中の仕事をより効果的に行うため、またタイ国民をより理解するためにも、タイ国事情(歴史、文化、経済、社会等)は赴任前に勉強しておく必要がある。

(2) 語学研修上の注意

英語の研修が絶対に必要である。政府および関係機関の中

級以上は欧米で留学したものがかなり多く、立派な英語を駆使している。英語を話すことは最も重要であるが、簡単な英語の報告書を書ける位の力がないと困る。会話と共に英語報告書作成についても研修が必要である。タイ語を事前に研修する絶体的必要性はない。当地にタイ語熟がたくさんあり、赴任後いくらでも勉強出来る。

Ⅱ 任 国 事 情

1 住 宅

(f) 住宅事情

① エージェントの有無

エージェントは多数有る（日本人が勤務しているエージェントもある）。

② 入手の難易度

入手は困難でない。

③ 賃貸方法

月払い。但し、家主により1ヶ月分の敷金を必要とする場合がある。

(g) 家 賃

アパートの方が独立家屋よりは安い。

① 独身者（1ベッドルーム） 4,000～4,500 パーツ

② 家族2人（2ベッドルーム） 4,500～6,000 パーツ

③ 家族4人（3～4ベッドルーム） 6,000～9,000 パーツ

（註：一般的にはベット、洋服ダンス、応接セット、冷蔵庫、ガスレンジ等のHard Furnitureは付いている。クーラーも1個は付いているが、それ以上は別途使用料を払う。

（月約300～400 パーツ）

（レートについては10. 為替の項参照）

(h) ホ テ ル

- ① 1日1人部屋代のみ200～450 パーツ、当地には食費込みのホテルはない。1ヶ月位の滞在の場合は下宿屋、マンションに居住した方が便利である。例えば、そうじ代、

せんたく代、電気代、電話代込みの食事朝夕二食つきで、
エアコン完備風呂付の下宿屋がある。

料金1ヶ月3,000～4,000 パーツ位。

- ② 長期ホテル滞在の場合、月極めで部屋代のみ4,500パ
ーツ位。

上記①の下宿屋を利用した方が経済的である。

(c) 什器・備品

- ① 食器類(日本的食器、例えばお茶碗、おぼし等)購入可
能。

但し日本の2倍～3倍の価格

2 食 品

(i) 食料事情

- ① 一般的食料事情

特に不足のものはなし。

- ② 日本食品の入手情況

日本食品入手可能。但し日本の価格の2倍～4倍。

- ③ 水、燃料等

水……………飲料水購入1ヶ月約150 パーツ

水道料金 1ヶ月約100 パーツ

燃料……………プロパンガス使用(大)約200 パーツ

調理器具……………購入可能。さしみ包丁携行

電気釜……………約300 パーツ

トースター……………約250 パーツ

鍋(日本製)……………約70～150 パーツ

”(タイ製)……………約15～30 パーツ

調味料……………購入可能

(輸入品にて高価)

④ 日本食レストランの有無

日本食レストラン 20 数軒あり。

(b) 価格 (多少の変動あり) (1 パーツ = 15 円)

品名	単位	価格 (パーツ)
米	1 kg	3.5 パーツ (日本米… 1 kg…12 パーツ)
パン	1 斤	7 " (輸入品 1 kg…9 パーツ)
小麦粉	1 kg	約 15 "
肉類		
豚肉	1 kg	約 40 パーツ
牛肉	1 kg	約 60 "
鶏肉	1 羽	約 30 " (輸入品…45 パーツ)
ハム	100 g	約 15 "
ウインナー	500 g	約 45 "
魚類		
かつお	1 匹	約 10 "
かれい	1 kg	約 5 "
まぐろ	1 kg	約 25~30 パーツ (現地もの)
あじ	1 kg	約 8 パーツ
たい (小)	1 kg	約 15 "
貝	1 kg	約 2 "
いか	1 kg	約 10 "
えび (小)	1 kg	約 45 "
えび (大)	1 kg	約 60 "
いせえび	1 匹	約 70 "
さば	1 匹	約 50 " (日本より輸入)
あじ干物 (小)	1 枚	約 8 " (日本より輸入)

品名	単位	価格 (パーツ)
しらす	100 g	約 10 パーツ (日本より輸入)
たらこ	2 ケ	約 24 " (")
調味料		
油	1 本	約 40 パーツ (輸入品)
タイ油	1 本	約 25 "
味噌	500 g	約 21 " (輸入品)
醤油	18 ℓ	約 80 " (")
ソース (中)	1 本	約 30 " (")
ケチャップ (中)	1 本	約 30 " (")
味の素	1 kg	約 45 "
さとう	1 kg	約 10 "
その他		
卵	1 ダース	約 12 パーツ
ミルク (大)	1 ケ	約 9.5 "
ジャム	1 ケ	約 28 " (輸入品)
バター	半ポンド	約 20 " (")
なっとう	1 袋	約 5 " (")
タイ製なっとう	1 袋	約 3 "
野菜		
じゃがいも	1 kg	約 15 パーツ
人参	1 本	約 2 "
椎茸	1 kg	約 700 "
さつま芋	1 kg	約 51 "
大根	1 本	約 2 "
白菜 (小)	1 ケ	約 5 "

品名	単位	価格(バーツ)
キャベツ(小)	1ケ	約4.5バーツ
きゅうり	1kg	約3 "
ほうれん草	100g	約3 "
さやいんげん	100g	約5 "
さやえんどう	100g	約5 "
ごぼう	1本	約15 "(日本より輸入)
山芋	1本	約40 (")
果物		
バナナ	12本	約5~6バーツ
パイナップル	1ケ	約6 "
みかん	1kg	約3~15 "(季節により異なる)
マンゴスチン	1kg	約4~15 "(")
ぶどう	1kg	約14~18 "(")
マンゴ	1ケ	約4~5 "
ザボン	1ケ	約5~7 "
リンゴ	1ケ	約10 "
パパイヤ	1ケ	約3~5 "
スイカ	1ケ	約12 "

(4) 外食

日本料理店は中華料理、タイ料理店に比べ2~3倍は高い。

日本料理店(C級)	昼食定食	約45~55バーツ
	天ぷらそば	約40 "
	かつどん	約35 "
	味噌汁	約15 "
	焼めし	約30 "

中華・タイ料理店（C級）	焼めし	約15	バーツ
	ラーメン	約5	＼
	中華	約10	＼

3. 衣類、日用品

(イ) 衣料事情

① 一般的衣料事情

布地は豊富。仕立ては日本より安い。既製服は高価。特に不足の品なし（但し下着、ブラウス、ソックス等日本製品は日本価格の2倍～3倍）

② 必要とする衣類

セーターまたはカーデガン1～2枚（特に12月・1月は日本の秋口の気候）

夏服……汗をかくので数多く必要（普段）

夏物和服1揃い 1～2着（訪問着）

黒色の背広

③ 携行すべきもの

夫人の場合 和服（訪問着）

パーティー用ビーズバック（入手可能但し高価）

その他着任後即日から利用するもの

(ロ) 日用品

4. 使用人

① 職業紹介所は有り

② 具体的雇用方法

職業紹介所は上記①の通りであるが、一般外人は利用しない。

使用人を雇用する場合は前任者の使用人を引継ぎ雇用す

るか、又は日本人会会報を通じ帰国する日本人の使用人の紹介をうける方法が最も信用出来る。

③ 給与月額

当国には最低賃金制度が確立されていない。

通常女中の場合 700～900 バーツ

運転手 " 1,200～1,500 バーツ

庭師 " 600～700 バーツ

コック " 900～1,200 バーツ

守衛 " 700～800 バーツ

年末にボーナス1ヶ月分別途支給する。

④ なお、最低必要とする使用人

女中1名、通学する子供がある場合は学校送迎等に運転手が必要。

⑤ 雇用、解雇に際し特に注意すべき事項

素行を十分に前雇用者よりきくこと。

3ヶ月以上勤務した使用人を解雇する時は1ヶ月分の退職手当支給が必要。

健康状態を確かめることが必要。特に幼児のある場合結核等感染する場合もあると聞く。

5. 医 療

(イ) 医療事情

① 医療施設

バンコックおよび主要都市においては、医療施設は発達しており心配はない。但し手術等はバンコックの方が安全である。

② 日本人医師の有無

日本人医師は多数居る（内科、産婦人科、歯科）
その外に日本に留学したタイおよび中国人で日本語を解
する医者が多数居る。

③ 出産の安全性

安全。

(d) 医薬品

医薬品は日本製、ドイツ、スイス、アメリカ製各国のもの
があり不足はないが、赴任当初用として家庭薬としての風
邪薬、腹痛薬、目薬等を持参する方が良い。

(e) 疾病の種類

- ① タイ出血熱、日本脳炎、肝炎、マラリヤ（特に地方）、
コレラ、赤痢等
- ② 日本出発前に特にしなければならない予防注射
コレラ、腸チブス、破傷風（特に子供は必ず受けさせる
こと）、種痘

(f) 健康管理上の注意

暴飲暴食は慎むこと。睡眠は充分とること。適当に運動
（ゴルフ、水泳）をすること。腹を立てぬこと。

6. 子弟の教育機関

(i) 通常専門家の子弟が利用している教育機関の実例

バンコックには泰日協会所属の泰日学校幼稚園部、小学部、
中等部がある。日本本土の学校と遜色ない程に施設、内容
が充実している。先生の多数は東京の学芸大学附属小学校
から派遣されて居り、規律ある教育が行われている。日本
人の子弟の殆んどは通常日本人学校に通学している。

その外に国際学校がある。バンコックに日本人高等学校がない為高校生は国際学校に通っている。地方在住の場合はタイ人学校を利用せねばならない。

(d) 授業料

中学校	680	バーツ (P T A 会費等を含む)
小学校	480	バーツ (")
幼稚園	480	バーツ (")
国際学校	約 10,000	バーツ (年間 2 学期制)

(e) 通学方法

一定区域にはスクールバスの便があるが、それ以外のものは家庭が自家用車で送迎する。スクールバス 1 ヶ月の料金は 120 バーツ。

7. 娯楽設備

(f) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

バンコック近辺に海水浴場 (バンセン = バンコックより 80 km、パタヤ = 120 km、ホアヒン = 250 km)、国立自然公園、避暑地 (カオヤイ = 220 km)、遺跡 (アユタヤ = 80 km) 等があり、いづれもアユタヤを除き一流のホテルがあり、週末家族連れでの保養が可能である。パブリックゴルフ場もバンコック周辺に 4 ケ所ある。ボーリング場、スケートリンク・テニスコート・映画もたくさんあり競馬なども盛んである。

(g) 通常の余暇の過ごし方

運動 (水泳、テニス・ゴルフ) するなり名所遺跡巡りするのも楽しいものである。ゴルフについては、コロンボプラン専門家のコンペが毎月一回行われ、D T B C の係官と日

本人専門家が楽しく一日を過ごすことは横の連絡を密にする上にも有意義であり且つ健康によい。

(c) 日本人クラブ、スポーツクラブの有無、料金

日本人クラブも有り食堂も備えている。スポーツクラブ（ロイヤルバンコッククラブ）もあるが審査がきびしく入会が非常に難しい。通常入会申込みしてからメンバーになるまでに約2年位掛る。メンバーシップ・フィーは年間2,000 バーツ

8. 電 力

家庭用	220 Volt	50 cycl
工場動力用	380 ~ 400 Volt	50 cycl

9. 交 通

(d) 交通事情

① 一般交通機関

一般交通機関は鉄道を除いては自動車である。特に近年バスによる交通機関は非常に発達し、バンコックより主要地方都市への長距離バス便があり、値段も格安であるので地方旅行は鉄道もしくはバス・航空機を利用することになる。鉄道の場合コンパートメントは快適であるが料金は航空機並み。

バンコック市内もバス便が網の様に発達していて、その料金は距離に関係なく乗換えしなければ75 サタンである。しかし運転粗ぼうと言葉の点など考慮すると婦人・子供はよほどのことがないかぎり利用しない方が安全である。タクシーハイヤーも無論利用出来るが、メーターがあってもメーター制でないので乗る前に料金交渉をし

なければならぬのでタイ語が分らないと「ボラレル」
ので注意を要する。長期派遣者は自家用車なくしては生
活は出来ない。

② 道路事情

道路事情も第一次、第二次経済開発計画実施中に整備さ
れ、主要幹線道路は舗装されており、1971年10月より
開始された第三次計画では地方道等支線道路整備に重点
をおいているので、年々道路事情は改善されていくが、
田舎では殆んど舗装されておらず、雨期などは自動車の
往来が不可能になる。1971年末において国道ならびに
主要地方道の総延長は17,105kmで、このうち11,462
kmが全天候舗装である。第三次開発計画によると、こ
の道路は1976年9月までには、さらに国道5,974km、
主要地方道7,467kmを各々新設延長及び改良（全天候
舗装）されることになっている。

③ 特に注意すべき交通法規

日本の交通法規を知っておれば問題はない。

当地では左側通行・右ハンドルで日本と同じである。最
近は交通取締りがきびしく駐車違反、信号無視など摘発
されるケースが多い。交通規則は何処の国へ行っても守
らねばならない。専門家だからといって交通違反の特権
免除はないから、ハンドルを握る場合は慎重にすること。
また運転中留意することは、バス・タクシーは粗暴、身
勝手運転をするので近よらない方がよい。同じく婦人の
運転する車が前方を走行中の場合要注意である。近年単
車が増加し、若者が無鉄砲な運転で大型車の間をぬって

走るので注意した方がよく、この関係の事故が急増している。

④ 交通事故の取扱い

交通事故に巻き込まれると十中八九如何に自分が正しくとも外国人の場合は加害者扱いにされる。

⑤ 事故補償

自動車保険に加入することは車を所有する第一条件である。A I U、日本、タイの保険会社がある。保険金は車の大小によって異なるが年間2,500～4,500 パーツ位である。

人を死亡させた場合の補償額は加害者の地位、経済能力で異なるが20,000～100,000 パーツ位である。

人身事故を起した場合、保釈金を払う迄は留置される。保釈金は事故の程度により異なるが、通常5,000～50,000 パーツと云われている。

その後両当事者間で話し合い示談で解決し、保釈金は後で返される。

(c) レンタカー

レンタカーのサービスあり。料金1ヶ月4,000 パーツ位。

(c) 自動車の購入

① 購入方法、融資方法

当地には欧米のメーカーは無論のこと日本の各自動車メーカーの現地法人、支店、代理店があり、当地において好みの車を発註出来る。

日本で発註するよりも着任後発註した方が、通関、登録サービスの点において便利である。融資については昭和

44年12月5日付TBK-35総務部長通達により、当事務所は如何なる場合といえども融資の斡旋はしない。必要と思われる際は、必ず赴任前本部において融資の斡旋を受けること。赴任後当事務所に斡旋依頼に現われる専門家があるが、お断りしている。

② 車の値段（CIF、無税の場合、1972年9月現在）

例：トヨタクラウン2,600 cc

デラックス		約\$ 4,000(クーラー、FM付)
コロナマークII 2,000 cc		約\$ 3,000(")
	2,300 cc	約\$ 3,200(")
コロナデラックス1,600 cc		約\$ 2,430(")
日産セドリック 2,400 cc		約\$ 3,000(クーラー別)
		クーラー約\$ 350
ブルーバード 1,400 cc		約\$ 1,900(クーラー別)
		クーラー約\$ 350
セドリック 2,000 cc		約\$ 3,000(クーラー別)
		クーラー約\$ 350

③ 免税輸入特権

輸入車については特権がある（厳密には免税ではない。）
即ち、専門家に関税を払う建前になっており後ではDTBCが専門家に払戻す制度“on a reimbursement basis”である。この場合現地で車を発注すると受託会社が関税分を立替えてくれるので便利である。）

④ 帰国時の売却方法、課税

売却する際は、購入後5年以内の場合にはモデル、走行距離により課税される。知人会社等に売却出来る。困難

はない。

(三) 運転免許

① 国際免許証の有効性

国際免許証は有効である。期間は発行後1年間であり、その後はタイの免許に切替える必要がある。タイ国より出張等により車で国外（マレーシア、シンガポール等）に出る場合は勿論、国際免許証が必要。当国で国際免許証への書換えは一日で出来る。

② 免許証取得の方法、経費等

各地に自動車運転学校がある。警察の試験にパスしなければならない。試験内容は日本に比べ非常にやさしく、簡単な法規と運転技術だけである。

受験料は30バーツであり、自動車運転学校の一教程は約800バーツ位である。

(四) ガソリン代

スーパー	1リットル	3.6バーツ
レギュラー	"	2.9 "

10. 為 替

(イ) 相場

公 定	U.S \$	20.25バーツ位（毎日変動あり）
実 勢	"	20.00バーツ

(ロ) 対日送金

現地銀行を通じ送金出来る。但し1人1ヶ月\$150が限度であり、それ以上の場合は大蔵省の許可が必要であり、手続きは銀行が代行してくれる。

(f) 滞在費等の受取方法

当地には日本の三井銀行、東京銀行がそれぞれ支店をもち営業している。日本人は殆んどいずれかにタイ通貨口座を持ち日本よりの送金を受け取っている。引出し方法はタイ通貨口座であるので簡単である。又、東京銀行より車購入等のため融資を受けた場合は、東京銀行ニューヨーク信託会社にドル口座を持たなくてはならない。現地引出し方法は、ドル小切手をパーツに交換する方式である。

11. 出入国管理

(f) 税関検査

① 一般事情

一般的に云って空港の税関はきびしい。特に一般旅券所持者は徹底的に調べられる。専門家の場合は公用旅券であるので概ね問題はない。

② 持込禁止品（国際的禁止品以外の）

③ 入国に際しての注意事項

特になし。

④ 持出禁止品

美術骨とう品の仏像および木彫品（美術局の許可あるものに限る。証明書が必要）

(g) 外人登録の有無

無し。希望によりD T E Cが身分証明書を発行してくれる。

(h) ビザの更新は当事務所が大使館名でD T E C宛口上書を作成提出する。D T E Cは口上書に基づき専門家に代って移民局との手続きをしてくれる。通常約1ヶ月は要する。

12. 便宜供与

(詳細については付録(I) Privileges Accorded To Foreign Experts 参照のこと。)

(i) 便宜供与の種類

① 住宅手当の現金供与

住宅手当(住宅が提供されない場合)

A) 6ヶ月未満の場合	バンコック滞在最高1日	200 バーツ
	地 方	” 1日100 バーツ
B) 6ヶ月以上の場合	バンコック滞在	月 4,000 バーツ
	地 方	” 月 2,000 バーツ

A)、B) いづれも専門家が立替払いし、領収書なり賃貸契約書の提出が必要であり、後に払戻しを受ける。

② 出張旅費

A) 日当 1日 100 バーツを越えない範囲(領収書は不要)

宿泊費(領収書が必要)

バンコックへ出張……………1日最高200 バーツ

地方へ出張……………1日最高100 バーツ

車馬賃 使用済切符あるいは領収書の提出による実費払いを原則とする。なお、バス、鉄道、舟によることを原則とする。鉄道の場合は一等車の乗車は可。特別ハイヤーなる乗物の場合はDTBCの許可を必要とする。

B) 公用車の提供は勤務機関の配慮により異なる。但し自家用車を使用する場合は、陸軍サービス・ステーションより購入した、油、ガソリンに限って月600 バーツを

越えない範囲で支給される。

- C) タイ政府提供の車の運転の為に運転手を備上する場合（大蔵省の許可を必要とする）月 450～600 バーツ支給される。
- D) 医療費は年間最高 2,000 バーツ支給する。但し歯の治療及び専門家の家族に係る経費は含まない。

③ その他

専門家が着任してから居住先が決定し移転する迄で6ヶ月を越えない範囲で、バンコックの場合最高200 バーツ、地方の場合は最高100 バーツホテル手当として支給される。

上記便宜供与は日本の専門家のみならず第三国よりのコロポプラン専門家に適用されるものである。すべて専門家が現金で支払い D T B C に領収書を添付して勤務先機関を通じて請求するもので、払戻しには約1ヶ月以上かかることに留意せられたい。

(a) カウンターパート、通訳

カウンターパートは専門家の勤務先機関から配属される。通訳の提供はない。

(b) 免税特権

身の廻り品、家庭用品（エアコン、冷蔵庫、ラジオ、プレイヤー）等生活上必要なものは着任時6ヶ月以内に輸入するものについては無税扱いをうける。酒類、タバコ、食糧品、医療品等で個人消費に限って年間最高24,000 バーツ（税金払戻し金額）迄購入出来る。

13. 通信、運輸

(イ) 郵便事情

① 安全性、配達システム

比較的安全である。バンコックにおいては戸口迄配達されるが、地方の場合は配達されないところが多いので、P.O.BOXを持つことが必要である。

② 電報・電話サービス

電報はバンコックより地方へ、その逆も広範囲にわたって可能である。電話は余り発達しておらずバンコックから主要都市へは限られたところだけである。地方よりバンコックへの通話は比較的良いが、日本に比べたら全くそれこそお話しにならない。バンコック市内においても雨期になると故障が続出して電話のかからないところが多くなる。

③ 手紙、電報の日本・現地間の所要日数

手紙	日本より	バンコック迄	3日間位
	バンコックより	日本迄	3日間位
電報	日本より	バンコック迄	1日位
	バンコックより	日本迄	2～3時間

(ロ) 運送

① 陸送・海送業者の有無、料金

陸送・海送業者とも有り、料金は重量・距離等により異なるので、実際に見積りさせなければ不明である。業者が暴利をむさぼる様なことは最近少なくなってきた。

② 家財・携行機材送付上の手続、宛名、注意事項

家財等を送付する際のB.L等の宛名(コンサイニー)は、

○ コロンボプラン専門家の場合……………

Department of Technical and Economic Cooprattion, Krung Kasem Road, Bangkok, Thailand

for Mr. 自分の名前 Colombo Plan Expert to 所属すべき官庁名

○ E S C A P 専門家の場合……………

ESCAP, UN Bldg, Rajdamnern Rd, Bangkok Thailand, for Mr. 自分の名前

○ その他国際機関専門家の場合……………

所属する国際機関名及び住所記載のうえ for Mr. 自分の名前とすること。

上記以外に宛先としてよく C/O Embassy of Japan を使用される人がありますが、無税通関等で困難が生じますので差しひかえること。

これら B L は有価証券ですから紛失すると荷物の引取りが出来なくなるので送付する場合は上記宛先もしくは当事務所宛書留郵便とすること。よく B L だけ送付されて INVOICE PACKING LIST が同封されない場合が往々にしてあるので日本の業者によく注意しておくこと。

部数は ORIGINAL、DUPLICATE、TRIPLICATE 3部あると便利である。

- ③ 赴任早々至急必要とする衣料等についてはアナカンにした方がいい。この場合でも無税通関手続をして実際に引取るには約1ヶ月かかるが、もし本人が輸入税を支払えばすぐにでも引取りが可能である。但し食料品、ラジオ

テープレコーダー等電気製品が入っておれば、輸入税も高額になるため、これらの品物は海送にし無税通関した方がいい。

14. 言語

- (a) 公用語、英語その他第1外国語の普及度
公用語はタイ語である。外国語としては英語も最も普及している。
- (b) 現地語事前学習の必要性
英語をマスターしている専門家ならばタイ語を事前研修しておくことはプラスになるが、英語の能力が初級・中級程度の方は英語だけを徹底的に研修することを強くすすめる。
(話す、書く、読む、聞くことすべて必要)
- (c) 語学学習の施設、受講時間等
タイ語塾、英語学校、タイ英語、個人教授もある。受講時間は朝、昼、晩とあり希望の時間に学習出来る。

15. 気候

全土が熱帯に属する常夏の国で年平均気温は北部約26度(摂氏)中部約27度、南部28度である。もっとも暑い時期は4月で最高気温40度に達し、12月が一番涼しく20度前後となる。雨期(5-10月)と乾期(11-4月)の区別がはっきりしており、年平均雨量は1,600ミリであるが、半島部はモンスーンの影響を受け雨量が3,000ミリ以上に達するところもある。健康管理上の注意事項は一般的であるが早寝、早起きすること、暴飲暴食を控えること。適当に運動し、腹を立てずに毎日笑顔で暮すことに務めること。精神的安定が第一である。

16. 治 安

(イ) 一般情勢

タイ国は立憲君主国で1973年10月軍政から民政へ移行してからも政情は安定している。しかし1975年近隣諸国ラオス、カンボディア、ヴェトナムのインドシナ三国の内戦終了と新体制への移行にともなう国境周辺の東北部などは共産活動が微妙に動き、その外泰、マレーシア国境の南部においても同様に共産テロ等の活動が新聞等に報ぜられているが、現政権が危険にさらされる程強力、大規模なものでないので、心配することはないが、これらの地域を旅行するときは一応注意を要する。経済に関しては成長率は実質約4%であるが豊かな農産物もあって経済的な危機は今のところ予想されていない。バンコックに居る限りは平和ムードで在留日本人も6,000人と云われており、外国に居るとは感じられない程である。バンコックに関しては余り狂悪な犯罪は多くなく、むしろ交通事故の方に気をつけねばならぬ程にバンコックの交通事情は年々悪化している。しかし、最近公園等において日本人に対して警官といつわってパスポートの提示を求めた上タクシーにのせ、人通りの少ないところにつれこみピストルをつきつけ金品を強奪するなどの恐喝事件がひんばんに起っておるので昼間といえども1人歩きの際は、当国では警察官が路上でパスポートの提示を求めることはあり得ないということを念頭におき、軽々しく話にのらぬよう注意願いたい。又、学生を装ったガイドの誘いにのり、数カ所案内された後不当に高いガイド料を請求された例もあるので、観光の際はホテ

ル等の観光会社に依頼するのが賢明である。しかし泥棒はどここの国でもある様に盗難が多いので夜間時における戸閉りは嚴重にしておく方が安全であり、盗る方よりも盗られる方が悪いので盗られない様に予防することに留意すべきである。

(7) 夜間外出上の注意

現在夜間外出は自由であるが、深夜のバンコック郊外の外出はしない方が賢明である。特に深夜時のバーキャパレーにおける飲酒は週日は午後12時迄、週末および翌日が休日の場合は午前1時迄となっている。これは革命評議会の布告でありこれを犯した者は提供するものおよび客の両方共風俗営業法違反で処罰されるので注意しなければならない。

バンコックは東南アジアにおける第一の国際都市で、あらゆる娯楽があり、ポン引、夜の女なども彷徨しており安々と彼等の誘いに乗らぬ様注意すべきである。

(8) ホテルでの注意

ホテルから外出する場合、必要以外の現金、カメラ等の貴重品はホテルのフロントに預けるか、人目につかないようトランクの中にきちんとしまい、鍵をかけるなど盗難防止に細心の注意を払うべきである。

(9) 緊急時における大使館又は事務所員との連絡方法

前記(4)の通り当地は治安も安定しているので、緊急時における避難対策は現在のところ全く考えていない。しかし当事務所は専門家の住居を常時把握し電話等によるリレー連絡により指示を与えて行く方針でもあり、その用意もある。

17. その他

(イ) 対日感情

対日感情は一般的に見て現在のところ平静である。しかし日泰間の貿易のアンバランスからタイ政府部内外に依然として日本を非難する人々が少なからず居り、新聞等でも日本を非難する記事が報道されているのを見かける。専門家も在留邦人として良識ある言動をとることが公私共必要である。

タイ人は小乗仏教の国民であり、温和で殺生を好まない。古くからの独立国でありプライドが非常に高く、そして内向的で控え目のところがある。よって彼等が何を考えているのか腹を読むのが難しい。社交的でユーモアのセンスもあり、個人として交際するのは楽しい。

(ロ) 新聞、雑誌等

バンコックに日本書籍の専門店があり、新聞、雑誌、一般読物は手に入れることが出来る。専門書なども日本より取り寄せてくれる。値段は日本の倍になる。

その外日本のレコードを各種販売している。

(ハ) 風俗、習慣

① 特に禁じられている風習、チップ等

A) 人の頭には絶対触れてはいけない。日本では他人の子供の頭をなで「いい子」と讃めることは習慣となっているが、タイでは人を侮辱することである。

B) 女の方は男の坊さんに触れてはいけない。又同席してもいけない。逆に男の人が尼さんに触れてもいけない。又同席してもいけない。(バス等乗物の中でも)

- C) タイ人の家に招かれた場合、婦人は黒色の洋服を着て
いってはいけない。ホテル等におけるパーティーは問
題はない。
- D) 蓮の花は宗教上の花であるので、人にプレゼントして
はいけない。宗教的行事のみに使うこと。
- E) お寺の中では履物を脱ぐこと。
- F) お寺に参観に行く時、女性はショートパンツ、ズボン
を着ていってはいけない。男性はショートパンツはい
けない。
- G) お寺の敷居を踏んではいけない。必ずまたぐこと。
- H) 立小便は如何なるところでも控えること。

次にチップであるが、

ホテル、レストランの給仕、空港のポーター等にはチッ
プをやる習慣がある。タクシーの運転手には必要ない。

(三) 美容院

ボ－ラ美容院、その他外人用……………	350～450	バーツ
(パーマメント、セット、シャンプー共)		
その他タイ人、一般用……………	120～150	バーツ
(シャンプー、パーマメント、セット共)		
＃ (セット)……………	20～30	バーツ

衛生の度合は比較的良い。

(四) 買物

店は大、中、小ある。バンコックには大丸デパート、セン
トラルデパートがある。その外にスーパーマーケットがあ
る。個人の店では若干値引するが、デパートなどは値引は
しない。

(ト) その他タイの一般事情を知るには、付録Ⅴの(2)に掲載の出版物が参考になろう。

Ⅲ 同国に対する我が国の技術協力実績

昭和50年3月31日現在

区分 形態	農 業	水 産	建 設	重 工 業	鉄 業	軽 工 業	化 学 工 業	公 益 事 業	運 輸	郵 政	厚 生	原 子 力	経 営 技 術	教 育	行 政	そ の 他	計
研修員受入	477	166	142	13	24	137	9	75	147	219	320	32	45	181	303	131	2,421
専門家派遣	109	59	122	12	16	21	2	112	79	120	278			20	20	162	1,132

IV 海外事務所等連絡先

大使館

住 所 Embassy of Japan
1674, New Petchuburi Road,
Bangkok 10, THAILAND

電話番号 526151 ~ 9

海外事務所

1) 住 所 Bangkok Office, JICA
c/o Embassy of Japan
1674, New Petchuburi Road,
Bangkok 10, THAILAND

電話番号 526151 ~ 9 EX 217,223

2) TELEXの場合

MASAO KUWABARA
BANGKOK OFFICE, JICA
C/O NIHONTAISHI BANGKOK

V 付録 (1)

**PRIVILEGES
ACCORDED TO FOREIGN EXPERTS**

**On Official Programs of Technical and Economic
Cooperation with the Government of Thailand**

**Department of Technical and Economic Cooperation
Ministry of National Development**

**Bangkok, Thailand
April, 1967**

FOREWORD

As a result of the increasing interest in programs of technical and economic cooperation with Thailand shown by many foreign governments and by almost all Departments of the Government of Thailand, a growing number of foreign experts and technicians have come to Thailand to assist the Government in the process of accelerated development. To ensure that foreign experts and technicians are given every facility in carrying out their task, the Government has taken steps to accord suitable privileges and exemptions to these experts in recognition of the importance of the services they provide to Thailand.

Agreements have been concluded with many foreign governments to define the status of foreign experts and to provide the legal basis for appropriate exemptions, particularly in respect of customs duties and taxes. A special committee has been set up to lay down a framework for privileges which can be offered unilaterally by the Government, notably in respect of tax reimbursements for those experts who would not legally be entitled to exemptions. In addition funds have been set aside to provide for various expenses which may be incurred in connection with the experts' assignments.

As a result of the various bilateral agreements, laws and regulations a wide range of facilities can now be offered to foreign experts working in Thailand. But misunderstandings and confusion have sometimes arisen as to the correct application of privileges and exemptions. I have felt, therefore, that there was a need for a handbook which would explain the facilities which we are able to accord to experts provided by different governments and organizations. The staff of the Department of Technical and Economic Cooperation has now compiled this handbook as a guide to the working rules as present followed in interpreting the relevant bilateral agreements, laws and regulations.

It is possible that some errors may have persisted despite all our efforts to secure the most accurate possible statement of the working rules to be observed. We should welcome any comments or observations which might lead to subsequent corrections or to greater clarity in presentation.

We hope that publication of this handbook will be of value to foreign experts and technicians for whose convenience the privileges and exemptions are provided. We hope also that it may be useful to other governments and organizations who may consider sending technical staff to Thailand in the future as part of a program of technical cooperation. Finally, I hope that the publication of this handbook may contribute ultimately to the revision of regulations and agreements to secure greater uniformity which help to avoid misunderstandings of any kind.

Bunchana Attakor

(Bunchana Attakor)

Director - General

Department of Technical and Economic
Cooperation.

April 27, 1967

TABLE OF CONTENTS

Foreword

A. General Privileges

Section 1 Immigration Privileges	2
Section 2 Allowances and Reimbursable Expenses	2
Section 3 Tax and Duty Exemptions	4
Section 4 Tax and Duty Reimbursements	5
Section 5 Legal Obligations	6

B. Summary of Special Privileges

List of Privileges which may be Granted under Section 3....	8
List of Privileges which may be Granted under Section 4....	8

C. Application of Special Privileges

<i>Colombo Plan (with covering agreement)</i>	
Schedule of Privileges under Sections 3 & 4	10
<i>Colombo Plan (no covering agreements)</i>	
Schedule of Privileges under Sections 3 & 4	11
<i>Federal Republic of Germany</i>	
Schedule of Privileges under Sections 3 & 4	12
<i>Other Government (with covering agreement)</i>	
Schedule of Privileges under Sections 3 & 4	13
<i>Other Government (no covering agreement)</i>	
Schedule of Privileges under Sections 3 & 4	14
<i>Ford Foundation and Rockefeller Foundation</i>	
Schedule of Privileges under Sections 3 & 4	15

**PRIVILEGES ACCORDED TO FOREIGN EXPERTS ON
OFFICIAL PROGRAMS OF TECHNICAL AND
ECONOMIC COOPERATION WITH THE GOVERNMENT OF THAILAND**

The privileges detailed in the following sections are applicable to all foreign experts except those provided under U.S. Government or U.N. programs, for whom separate provisions apply. The privileges are classified in five sections:

1. Immigration privileges
2. Allowances and reimbursable expenses
3. Tax and duty exemptions
4. Tax and duty reimbursements
5. Legal obligations

Privileges under sections 1 and 2 are applicable to all foreign experts alike. The privileges under sections 3 and 4 are dependent on the existence and the provisions of bilateral agreements or project agreements concerning programs of technical and economic cooperation between the foreign government or agency and the Government of Thailand. In the following sections the term 'project agreement' refers only to those formal agreements in which tax and duty privileges for experts under the project have been agreed by the governments concerned.

A. GENERAL PRIVILEGES

SECTION 1 IMMIGRATION PRIVILEGES

1.1 *Exemption from visa and immigration fees and from alien registration*

When the expert first arrives in Thailand a temporary residence permit must be obtained from the immigration authorities. A re-entry visa or multiple re-entry visa will be required if the expert temporarily leaves Thailand at any time during his assignment. The expert is exempted from the payment of fees for such visas and permits and is not required to hold an alien registration certificate. These rules apply equally to the wife and children of the expert.

Upon request DTEC will assist in obtaining residence permits and re-entry visas. If desired DTEC will also provide an identification card for the expert for the duration of his assignment. The necessary forms and details of these facilities are available on written request from DTEC Colombo Plan or Third Countries Divisions.

SECTION 2 ALLOWANCES AND REIMBURSABLE EXPENSES

All allowances and reimbursements of expenses are paid through DTEC Finance Division. Tickets or receipts for payments will be required by DTEC Finance Division in order to secure reimbursements. Payment will be made by cheque after sufficient time has elapsed for the formalities involved in the authorisation of the payment. The name of the person who will collect the cheque should always be notified to DTEC Finance Division.

2.1 *Accommodation*

If free accommodation is not provided to the expert by the Government, the following reimbursements for actual expenses are payable:

- (a) assignments of not more than six months duration; up to a maximum of 200 baht per day in Bangkok and 100 baht per day in other parts of the country, on provision of receipts for actual payments.
- (b) assignments of more than six months duration; house rent up to a maximum of 4,000 baht per month in Bangkok and 2,000 baht per month in other parts of the country. A signed

copy of the contract to rent the house must be deposited with DTEC Finance Division. Reimbursement will be arranged when the receipt for house rent (with stamp duty affixed at the rate of 50 satang per 100 baht) has been received by DTEC. Tax at the rate of 10 or 30 satang per 100 baht (depending on the legal status of the owner) will be deducted from the reimbursement and a certificate of tax payment will be attached. This tax should be recovered from the person to whom rent has been paid, on production of the certificate.

2.2 Allowance for travel on official duties

The following expenses will be reimbursed for official travel away from the post to which the expert is assigned:

- (a) Living allowance of not more than 100 baht per day (no receipts necessary)
- (b) Actual cost of hotel accommodation up to a maximum of 200 baht per day in Bangkok and 100 baht per day in other parts of the country. Receipts for actual payment are required.
- (c) Actual cost of travel, on production of tickets or receipts. The expert should travel by scheduled passenger services (bus, train or boat) wherever possible, and may travel first class in the case of classified passenger service. For travel by special hire service, the approval of the Department to which the expert is attached, or of the Governor of the province concerned (as circumstances permit) must be obtained.

An application for reimbursement of expenses incurred on official travel must be accompanied by the standard form detailing the journey performed and indicating the approval of the Department to which the expert is attached.

2.3 Allowances for transport

If a car is required for the performance of official duties, the following expenses are reimbursable upon provision of receipts:

- (a) Fuel and lubrication oils purchased from any Armed Forces Service Station, not exceeding 600 baht in one month.

- (b) Repair and maintenance costs incurred as the direct result of official duties. If repair and maintenance costs are in excess of 1,000 baht, the approval of the Department to which the expert is attached will be required.

For vehicles supplied by the Thai Government, the wages of one driver, at the rate 450-600 baht per month, are reimbursable subject in each individual case to the approval of the Ministry of Finance.

2.4 Medical expenses

Expenses for medical treatment (but not including dental treatment) for the expert (but not his family or dependents) will be reimbursed up to a maximum of 2,000 baht per year upon provision of receipts.

2.5 Internal travel and accomodation on first arrival

The following expenses will be reimbursed after the expert's first arrival:

- (a) Actual cost of travel, on production of tickets or receipts, for the expert and his wife and children from the point of entry to the post to which he is assigned.
- (b) Actual cost of hotel accomodation, up to a maximum of 200 baht per day in Bangkok and 100 baht per day in other parts of the country, until the expert moves into permanent residence and in any case for a period not exceeding six months from the date of first arrival. Receipts for actual payments are required.

SECTION 3 TAX AND DUTY EXEMPTIONS

The tax and duty exemptions to which an expert may be entitled depend on the provisions of a bilateral or project agreement. Those exemptions to which an expert is entitled are indicated in part C.

Upon request DTEC Tax Clearance Division will assist the expert in securing tax and duty clearance from the Customs and Revenue Departments in respect of imported goods and effects. The expert himself will be responsible for collection of the goods and effects from the Port of Bangkok and for payment of any incidental charges. He is strongly recommended to engage the services of a transport firm or of one of the people at the Port of Bangkok who are specialised in the

task and will be able to guide him through the formalities involved. The tax Clearance Division has a list of such people and firms whom the expert may hire. Clearance from the Customs and Revenue Department must be obtained before collection of the goods from the Port.

Exemptions of customs duty on durable imported goods and effects (including a motor-vehicle) are conditional upon subsequent re-export of the goods and effects prior to the expert's final departure. The expert should confirm the export or disposal of the goods and effects with DTEC Tax Clearance Division as soon as possible and not less than fifteen days before his final departure. In the case of sale or transfer within Thailand to any person not entitled to the relevant exemptions, the goods and effects will be subject to the customs duties and taxes prescribed by law. The expert must inform DTEC Tax Clearance Division of such sale or transfer as soon as possible and not later than twenty days after the sale or transfer. The expert (and not the recipient or purchaser) is legally responsible for the payment of duties and taxes.

SECTION 4 TAX AND DUTY REIMBURSEMENTS

The tax and duty reimbursements to which an expert may be entitled depend on the existence and the provisions of a bilateral or project agreement. Those reimbursements to which an expert is entitled are indicated in part C.

The expert is himself responsible for the payment of taxes and duties for which he will be entitled to reimbursement. The relevant tax receipts, copies of invoices and import entry forms should be forwarded to DTEC Tax Clearance Division through the Department to which he is attached. The name of the person who is to collect the cheque for reimbursement should be given. The cheque will be issued through DTEC Finance Division after clearance and authorisation of the payment.

Reimbursement of taxes and duties on *imported consumable goods* at the prescribed rates will be granted pro rata within each fiscal year (1 October to 30 September). Reimbursements may be granted retro-

spectively in the new fiscal year for taxes and duties paid during the previous fiscal year. But unused privileges in one fiscal year (i.e. the balance of undisbursed funds) will not be carried forward for the reimbursement of taxes and duties paid in the subsequent fiscal year.

Reimbursement of customs duty on *durable imported goods* (e.g. motor-vehicles) is conditional upon the subsequent re-export of the goods prior to the expert's final departure. The expert should confirm the export or disposal of the goods and effects with DTEC Tax Clearance Division as soon as possible and not less than fifteen days before his final departure. In the case of sale or transfer within Thailand to any person not entitled to the relevant exemptions, the goods and effects will be subject to the prescribed customs duties and taxes. The expert must inform DTEC Tax Clearance Division of such sale or transfer as soon as possible and not more than twenty days after the date of sale or transfer. The expert (and not the recipient or purchaser) is legally responsible for the payment of duties and taxes.

SECTION 5 LEGAL OBLIGATIONS

Some obligations with which experts are requested or required by law to conform are listed below.

5.1 Vehicle and driving licenses

Experts are not exempt from taxes and fees relating to vehicle and driving licenses issued by the Police Department. The license for a personal motor-vehicle must be obtained immediately after import, and must be renewed at the beginning of each calendar year. A driving license should be obtained on the expert's first arrival and renewed each year upon expiry. The expert should take care to inform himself of traffic laws and regulations, and is strongly advised to arrange insurance for a personal motor-vehicle. Upon request DTEC will assist in obtaining vehicle and driving licenses.

5.2 Licenses for firearms

Licenses must be obtained from the Police Department for the import and possession of firearms. Taxes and fees must be paid by the expert. Upon request DTEC will assist in obtaining licenses.

5.3 Leave

The expert will be free on Saturdays, Sundays and official holidays. Other leave should be taken in accordance with rules and regulations prescribed by the supplying government or organization. The approval of the Government organization to which the expert is attached should normally be requested before leave is taken.

5.4 Completion of Assignment

Before departure on completion of assignment the expert *must* inform DTEC about the disposal of imported durable goods (including motor-vehicle) or firearms (see sections 3 & 4).

B. SUMMARY OF SPECIAL PRIVILEGES (see part C).

LIST OF PRIVILEGES WHICH MAY BE GRANTED UNDER SECTION 3

- 3.1 Exemption from customs duties on personal and household effects (not including a motor-vehicle) which were in the possession of the expert or his dependents on the date of, and imported within six months after, the expert's first arrival in Thailand.
- 3.2 Exemption from customs duties on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within eighteen months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and a second vehicle may be imported exempt from customs duties.
- 3.3 Exemption from customs duties on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within six months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and a second vehicle may be imported exempt from customs duties.
- 3.4 Exemption from income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country.

LIST OF PRIVILEGES WHICH MAY BE GRANTED UNDER SECTION 4

- 4.1 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages and foodstuffs imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 14,000 baht per year. Experts who are entitled to these

benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from the PX or Commissary.

- 4.2 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages, foodstuffs and medicaments imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 24,000 baht per year. Experts who are entitled to these benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from PX or Commissary.
- 4.3 Reimbursement of customs duties payable on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within six months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and reimbursement claimed on a second imported vehicle.
- 4.4 Reimbursement of income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country. The expert must submit an income tax return to the Revenue Department by February 28 each year. DTEC Tax Clearance Division can assist the expert in paying and securing reimbursement of the income tax.

C. APPLICATION OF SPECIAL PRIVILEGES

Colombo Plan (with covering agreement)

SCHEDULE OF PRIVILEGES UNDER SECTIONS 3 & 4 accorded to experts under the Colombo Plan who are covered by a bilateral agreement or project agreement.

For general conditions governing these privileges see notes under Section 3 and Section 4.

Item

- 3.1 Exemption from customs duties on personal and household effects (not including a motor-vehicle) which were in the possession of the expert or his dependents on the date of, and imported within six months after, the expert's first arrival in Thailand.
- 3.3 Exemption from customs duties on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within six months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and a second vehicle may be imported exempt from customs duties.
- 3.4 Exemption from income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country.
- 4.1 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages and foodstuffs imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 14,000 baht per year. Experts who are entitled to these benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from the PX or Commissary

Colombo Plan (no covering agreement)

SCHEDULE OF PRIVILEGES UNDER SECTIONS 3 & 4 accorded to experts under the Colombo Plan who are not covered by a bilateral agreement or project agreement.

For general conditions governing these privileges see notes under Section 3 and Section 4.

Item

- 3.1 Exemption from customs duties on personal and household effects (not including a motor-vehicle) which were in the possession of the expert or his dependents on the date of, and imported within six months after, the expert's first arrival in Thailand.
- 3.4 Exemption from income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country.
- 4.1 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages and foodstuffs imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 14,000 baht per year. Experts who are entitled to these benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from the PX or Commissary.
- 4.3 Reimbursement of customs duties payable on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within six months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and reimbursement claimed on a second imported vehicle.

Federal Republic of Germany

SCHEDULE OF PRIVILEGES UNDER SECTIONS 3 & 4 accorded to experts covered by the bilateral and project agreements with the Federal Republic of Germany.

For general conditions governing these privileges see notes under Section 3 and Section 4.

Item

- 3.1 Exemption from customs duties on personal and household effects (not including a motor-vehicle) which were in the possession of the expert or his dependents on the date of, and imported within six months after, the expert's first arrival in Thailand.
- 3.2 Exemption from customs duties on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within eighteen months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and a second vehicle may be imported exempt from customs duties.
- 3.4 Exemption from income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country.
- 4.2 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages, foodstuffs and medicaments imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 24,000 baht per year. Experts who are entitled to these benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from the PX or Commissary.

Other Governments (with covering agreement)

SCHEDULE OF PRIVILEGES UNDER SECTIONS 3 & 4 accorded to experts outside the Colombo Plan on an inter-government program who are covered by a bilateral agreement or a project agreement (but excluding experts from the Federal Republic of Germany).

For general conditions governing these privileges see notes under Section 3 and Section 4.

Item

- 3.1 Exemption from customs duties on personal and household effects (not including a motor-vehicle) which were in the possession of the expert or his dependents on the date of, and imported within six months after, the expert's first arrival in Thailand.
- 3.3 Exemption from customs duties on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within six months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and a second vehicle may be imported exempt from customs duties.
- 3.4 Exemption from income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country.
- 4.1 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages and foodstuffs imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 14,000 baht per year. Experts who are entitled to these benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from the PX or Commissary.

Other Governments (no covering agreement)

SCHEDULE OF PRIVILEGES UNDER SECTIONS 3 & 4 accorded to experts outside the Colombo Plan on an inter-government program who are not covered by a bilateral agreement or a project agreement.

For general conditions governing these privileges see notes under Section 3 and Section 4.

Item

- 3.1 Exemption from customs duties on personal and household effects (not including a motor-vehicle) which were in the possession of the expert or his dependents on the date of, and imported within six months after, the expert's first arrival in Thailand.
- 3.4 Exemption from income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country.
- 4.1 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages and foodstuffs imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 14,000 baht per year. Experts who are entitled to these benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from the PX or Commissary.

Ford Foundation and Rockefeller Foundation

SCHEDULE OF PRIVILEGES UNDER SECTION 3 & 4 accorded to experts from the Ford Foundation and the Rockefeller Foundation.

For general conditions governing these privileges see notes under Section 3 and Section 4.

Item

- 3.1 Exemption from customs duties on personal and household effects (not including a motor-vehicle) which were in the possession of the expert or his dependents on the date of, and imported within six months after, the expert's first arrival in Thailand.
- 4.2 Reimbursement of duties and taxes on spirits, cigarettes, beverages, foodstuffs and medicaments imported by the expert for personal consumption. The reimbursement of duties and taxes is limited to a maximum rate of 24,000 baht per year. Experts who are entitled to these benefits should not be given similar benefits in other forms, such as the right to purchase spirits, cigarettes and consumable goods from the PX or Commissary.
- 4.3 Reimbursement of customs duties payable on the import of one motor-vehicle for the personal use of the expert in connection with his assignment and imported within six months after his first arrival in Thailand. Exemption or reimbursement will not be granted in the case of purchase of a motor-vehicle from previously imported stock held by an importer. After four years from the date of import the vehicle may be disposed of (subject to the conditions relating to transfer or resale within Thailand) and reimbursement claimed on a second imported vehicle.
- 4.4 Reimbursement of income taxes on salaries, allowances and earnings drawn from the expert's own country. The expert must submit an income tax return to the Revenue Department by February 28 each year. DTEC Tax Clearance Division can assist the expert in paying and securing reimbursement of the income tax.

付 録 (2)

(A) タイの一般事情を知るために

書 名	著 者	出 版 社 他
動乱のアジア	ブライア・フロジャー 山下正雄訳	時事通信社
メコンの開発	ショーワメル・ホワイト 安芸岐一訳	"
タイと東南アジアの争乱	ニヒター・ライン 山下政雄訳	"
東南アジアの経済(上・下)	山下政雄著 安芸岐一著	"
モンsoonアジア	別枝篤彦	アジア経済研究所 ㊦26
東南アジアと日本	丸山静雄	" ㊦15
東南アジアの水	家永泰光	" ㊦29
東南アジアのこころ	岩田慶治	" ㊦30
タイの日本企業	田中忠治	" ㊦2
タイ農業の真実	長谷川善彦	" ㊦5
タイにおける最近の政治経済 動向	田中忠治	"
東南アジアの価値体系 (タイ編)	河部利夫 田中忠治	現代アジア出版会
低開発国経済の動向と南北問 題	外務省経済協力局	
タイ王国	外務局アジア局	日本国際問題研究所
東南アジアの少数民族	岩田慶治	
熱帯科学	東大出版会	
History of Siam	Wood	
Asia	Dudley Stump	
South East Asia	Dobbey	

(B) 英語の勉強レポート作成のために赴任時に持参した方が
良いもの(1例)

書名	著者	出版社他
時事英語の読み方	ダイヤモンド社	ダイヤモンド社
米英語商業通信文	橋本 修	同文館
英文タイプの初歩	百瀬泰男	日本文芸社
英作文の基本文型	岩田一男	三省堂
英語単語熟語集	赤尾好夫	旺文社
その他 英→和、和→英辞書		

